

第36回 第2章 現代の経済

第5節 国民経済と国際経済

地域主義とグローバリズム

講師
篠田健一郎

学習のねらい

第二次世界大戦後の国際経済は、自由貿易と国際分業を中心に展開してきました。国際経済の発展とともに、地域主義とグローバル化があらわれます。地域主義は国際経済を発展させるために取り組まれています。経済統合から政治統合を目指す動きもあります。また、財やサービスの移動だけでなくお金や人、情報の移動が大量に瞬時に世界中に広がり、世界の人々に大きな影響を及ぼすグローバル化が顕著です。

調べておこう
覚えておこう

TPP/EPA/グローバル化/EU/FTA/
リーマン・ショック/地域統合

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

地域統合の潮流

第二次世界大戦後の国際経済は、自由貿易と国際分業をもって発展してきました。さらなる発展のために経済的な^① _____ が図られてきました。経済的な地域統合によって財やサービス、お金や人などの移動を自由にして、ひとつの大きな市場をつくりだすことで国際経済全体にメリットがあるというわけです。ヨーロッパでEC（欧州共同体）から^② _____（欧州連合）へ発展したように、経済的な^① は政治的な地域統合へと向かっています。

POINT 2

広がる FTA

GATT（関税と貿易に関する一般協定）やWTO（世界貿易機関）に象徴されるように自由貿易の原則は自由・無差別・多角です。しかし、国際経済を発展させるのであれば、二国間協定も認めることになりました。1990年代から^③ _____（自由貿易協定）を結ぶ動きがあらわれます。協定を結んだ国同士は、基本的に関税その他の自由貿易の妨げとなるものをなくして、自由貿易を推進しようという取り決めです。さらに財やサービスだけではなく、お金や人の動きも自由化しようという^④ _____（経済連携協定）を結ぶ動きがあらわれます。

日本は2002年にシンガポールとFTAを結んで以来、メキシコやマレーシア、インドネシアなどとも結んできました。最近では、EPAを重視し、人材の受け入れや相手国への投資、日本の知的財産権保護を図っています。2016年には^⑤ _____（環太平洋経済連携協定）に調印しました。

POINT 3

グローバル化と国際資本移動

20世紀の後半からヒト・モノ・カネ・サービス・情報などが、大量に瞬時に地球規模で動くようになりました。このような動きのことを⑥.....といいます。例えば、製品の規格や会計制度、経済のしくみなどを国際標準にそろえるようになります。情報通信機器の発達によって、大量の情報を瞬時に世界中に送れるようになりました。世界中のどこで起こっている出来事も、インターネットを通じて世界中の人々が共有することができるようになりました。

2008年の⑦.....も、お金の動きがグローバル化したことで100年に一度の金融危機といわれるまでに拡大しました。発端はアメリカのサブプライム・ローンが焦げ付いたことでした。これにより、大手投資銀行リーマン・ブラザーズが、経営破たんし追い込まれました。この影響が世界中に広がり、世界金融危機となりました。

グローバル化はメリットもデメリットもあります。わたしたちはグローバル化と地域主義のバランスをとりながら、メリットはなるべく大きく、デメリットはなるべく小さくする工夫を世界各国と協調して取り組む必要があります。



Handwriting practice lines consisting of horizontal dotted lines.

- ① 地域主義
- ② EU
- ③ FTA
- ④ EPA
- ⑤ TPP
- ⑥ グローバル化
- ⑦ リーマン・ブラザーズ